

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公開番号】特開2006-239101(P2006-239101A)
 【公開日】平成18年9月14日 (2006.9.14)
 【年通号数】公開・登録公報2006-036
 【出願番号】特願2005-58309(P2005-58309)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 2 0 Z

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月11日 (2008.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検者に X 線を照射する X 線源と、前記 X 線源によって照射された X 線を前記被検者の所定の視野に制限する X 線絞りと、前記 X 線源と対向配置され前記被検者の透過 X 線を検出する X 線平面検出器と、前記 X 線平面検出器の X 線入射面に配置され前記被検者の透過 X 線のうちの散乱 X 線成分を除去するグリッドと、前記 X 線源と前記 X 線平面検出器とを対向配置関係を維持して支持する支持器と、X 線が照射されていない状態（X 線非照射状態）を検出する手段と、前記検出された X 線非照射状態に基づき前記 X 線平面検出器の出力信号を補正する手段と、前記補正された前記 X 線平面検出器の出力信号を X 線画像として表示する表示手段と、を備えたことを特徴とする X 線画像診断装置。

【請求項 2】

前記検出手段は、前記 X 線絞り又は前記支持器の動作を設定するためのリモコンの操作もさらに検出することを特徴とする請求項 1 に記載の X 線画像診断装置。

【請求項 3】

前記検出手段は、前記 X 線画像診断装置から発生される X 線を防護するための防護室のドアの開閉もさらに検出することを特徴とする請求項 1 に記載の X 線画像診断装置。

【請求項 4】

前記検出手段は、前記被検者が X 線平面検出器の撮影可能領域にあることをさらに検出することを特徴とする請求項 1 に記載の X 線画像診断装置。

【請求項 5】

前記補正手段は、残像補正データを空読みして、当該残像の補正を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の X 線画像診断装置。

【請求項 6】

前記補正手段は、X 線が照射されない状態の暗電流を含むオフセット補正データを更新し、その更新されたオフセット補正データに基づいてオフセット補正を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の X 線画像診断装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記目的は、被検者にX線を照射するX線源と、前記X線源によって照射されたX線を前記被検者の所定の視野に制限するX線絞りと、前記X線源と対向配置され前記被検者の透過X線を検出するX線平面検出器と、前記X線平面検出器のX線入射面に配置され前記被検者の透過X線のうちの散乱X線成分を除去するグリッドと、前記X線源と前記X線平面検出器とを対向配置関係を維持して支持する支持器と、X線が照射されていない状態(X線非照射状態)を検出する手段と、前記検出されたX線非照射状態に基づき前記X線平面検出器の出力信号を補正する手段と、前記補正された前記X線平面検出器の出力信号をX線画像として表示する表示手段と、を備えたことによって達成される。